

はにい

学級という社会

平成26年5月16日

『3年D組 学級の組織を作っていこう』というプリントが配られました。

学級とは、みんなが生活する上で大切な「社会」です

先生からのメッセージの下には、学級に必要な係りがいくつか書いてあります。

「他にも必要な役割があったら、意見を出してください」

自分たちで黒板に書いていきます。自分たちの生活を作っていくためのルールづくり。学級は小さな社会の実践の場です。



2年生の教室では、生徒会の委員を選出しています。放送委員の希望が重なったので、立候補者が演説をしています。

「みなさんおはようございます」

「おはようございまーす」

「この僕の爽やかな声を、朝から学校中に響き渡らせたいと思います」

「おお！」 「いいね」

「そして、去年はちょっと課題の残った放送だったので、今年は、・・・えーと。えー。今年は、皆さんの気持ちを元気に明るくさせるような放送をしていきたいので、僕に清き一票をお願いします」

隣の教室では、体育委員を選出しています。顔を伏せて、そっと挙手をする投票方法です。

体育委員が決まりました。教師のひと言です。

「これで体育委員が決まりましたが、体育委員の力だけで体育祭はできません。体育委員をすぐ近くで支えて、クラスみんなでサポートしてあげてくださいね」



自分たちによる、自分たちの1年間が始まりました。

『はにい』は、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp